

## ③都市計画道路 岐阜駅高富線たかとも（梶川工区）街路整備事業

受賞機関 岐阜市

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

市の大動脈となる幹線道路を、弾力的な幅員構成や他の道路との機能分担で、当初の都市計画から縮小変更して整備した事業。他の路線と複合的に交通容量を確保し、沿道の歴史・文化資産に配慮した計画幅員へと縮小を図るなど地域への丁寧な配慮が感じられるほか、公共交通との連携や防災機能の強化など、地域の価値を複合的に高める取組みを評価。

### 1. はじめに

「都市計画道路 岐阜駅高富線」は、岐阜市と隣接都市を結ぶ主要幹線街路である。このうち、梶川工区が位置する地域は、織田信長公が天下布武を唱え、生涯で最も長く滞在した(旧)岐阜城下町にあり、近隣には岐阜城をいただく金華山や1300年の歴史を誇る鶺鴒で名高い清流長良川など、自然と歴史・文化が豊かな街である。

本事業は、それら岐阜市ならではの特性を活かした道づくりを行ったものである。

### 2. 事業の概要

#### (1) 歴史的まちなみの保全と幹線街路機能の両立

当地域は、信長公が楽市楽座をすすめ、城下町として栄え、現在も数多くの寺社仏閣など、歴史文化的資産が残っている。

本路線は、当初、幅員25mの4車線で都市計画決定され、この計画では市指定文化財の歴史的建造物を一部取り壊す必要があった。このため、4車線道路の機能を確保しつつ、それらの歴史建造物を保全していくことが課題となった。

そこで、並行する一般国道に車道機能の一部を分担させ、当路線は従来の交通形態を維持し、一方通行2車線として、計画幅員を17mに縮小する都市計画変更を行った。これにより、道路機能を確保するとともに、美しい歴史的なまち並みを保全することができた。

また、広幅員道路による地域分断も最小限にとどめることができ、地域コミュニティの保全や来訪者の回遊性の向上等、地域に根づく歴史観光都市としての魅力向上に寄与している。

#### (2) 魅力ある道路づくりに向けて

その他、本事業は岐阜市の歴史や文化を感じながら散策する「まちなか歩き」のコースとして位置付けられており、歩行者と自転車の通行部分を植栽帯で分離し、そ



整備前



整備後

れぞれの舗装をカラー化するなど、歩行者及び自転車利用者の安全性・快適性を確保した。あわせて、季節感のあるヤマボウシなどの街路樹の植樹や、清流をイメージしたせせらぎ水路の整備、休憩スポットとしてベンチや水飲み場を設置するなど、「思わず歩きたくなる」空間を創出した。

また、岐阜市では公共交通を軸としたまちづくりの実現に向け、岐阜市型BRTを推進しており、まち並みに調和する緑色でバスレーンを舗装するなど、「公共交通軸を見える化」した。

さらに、電線地中化の整備により、防災機能を強化するとともに、金華山の眺望と良好なまち並み景観を形成し、魅力向上にも寄与した。

### 3. おわりに

本事業の計画・設計・施工にあたっては、地元住民の皆様や道路管理者、交通管理者など、多くの皆様の努力と熱意により、まちづくりと一体となった道路整備が実現した。

本事業が地域の賑わいや魅力を創出し、まちの活性化に繋がることを期待したい。

賛助会員 大日本土木(株)、(株)ユニオン